

| | | | | | |
|------------------|---|--------------------------|----------------------|-------|----|
| 科目名 Subject | スタイルドローイング Style Drawing | | 教員名 | 富田 知子 | |
| 開講年次 | 2 | 開講時期 | 前期 | 単位 | 2 |
| 必修／選択 | 必修 | 授業形態 | 演習 | 時間 | 30 |
| 実践的教育 | ○ | | | | |
| 主な学習効果 | 1) 美容技術とデザイン力、すなわち美容における実践力 | | 2) 表現力、すなわち芸術における実践力 | | |
| | ◎ | | ◎ | | |
| 科目の概要 | 美容が扱う「人」は社会の中で生き、その社会において影響を受けながら自己の生き方を確立していく。ファッションや住居環境もその一つであり、そこには時代特有の美意識と芸術様式が存在する。この授業では、これまで短大から培ってきた、美容と美術の知識と技術をもとに、人体を軸にした「美」を考え、かたちとして表現を行う。 | | | | |
| 授業の目標 | この授業では、1年での「美容デザイン演習」でおこなった、時代の様式美を理解したうえで、様式美を採用したデザインを取り入れて、コンセプトをつくり、ヘアメイクデザインを行い、後期美容芸術研究での人体モデルを使用した制作ができるようになる。 | | | | |
| 時間外学習 (予習・復習) | 日常周囲のデザインを意識し、自身の作品コンセプトについえ常に問いかけるようにする。デザインに必要な要素は写真、デッサンに起すなどして、授業内の制作に生かしていく。必要な材料の準備などを必ず行い、授業に備える。平均60分から90分行う。 | | | | |
| 教科書・教材 | 教科書 | 特にないが必要に応じて資料を配布する。 | | | |
| | 教材 | リンクブック 30号パネル ケント紙 その他画材 | | | |
| | 使用設備・備品 | エアブラシ 木工室 等 | | | |
| | 参考文献 | 随時提示 | | | |
| 評価方法 | 主に作品で評価する。時間内にしっかりと作品の制作を行い完成すること。 | | | | |
| | なお、出席数が不足の場合は評価対象とはしません。 | | | | |
| 学生へのフィードバックの方法 | 個別に実地指導を行います。 | | | | |
| | | | | | |
| 履修上の注意 | 授業内での作品制作が進むように、時間外での準備をしっかりと行ってください。 | | | | |
| 本科目履修と関連する資格 | 資格名 | 特にありません。 | | | |
| | | | | | |

| 授業計画 | | | |
|------|------------------------|---|---|
| | 授業内容 | 到達目標 | 予習・復習・備考 |
| 第1回 | 授業内容についてのガイダンス | これまでの学びを振り返り、本授業の位置づけを知ることができるようになる。 | 1年「美容デザイン演習」での作品を確認し、復讐しておく。 |
| 第2回 | デザインの草案作成とイメージする人物像の決定 | リンクブックを使用し、コンセプト決定することができるようになる。 | リンクブックに、イメージカラーージュをする。 |
| 第3回 | 30号の木製パネルにケント紙を水張りする。 | パネルの完成までの待ち時間において、中心となる人物のデッサンを行うことができるようになる。 | ヘアデザインのエスキースをしておく |
| 第4回 | 作品用ボードに実際に人物を書き込む。 | 人物の頭部の下書きを完成させることができるようになる。 | ヘアデザインの色を決定しておく |
| 第5回 | 人物頭部にヘアデザインを加える | ヘアデザイン部分の下書きを完成することができるようになる。 | メイクの色とデザインのエスキースをしておく |
| 第6回 | 人物顔面にメイクを加える | メイクの下書きを完成することができるようになる。 | 作品に使う素材を決定し、リストを作る |
| 第7回 | 作品の制作1) 顔面部 | 顔髪の部分下塗りを完成することができるようになる。 | 随時作品に必要な素材の準備 |
| 第8回 | 作品の制作2) 毛髪部 | 髪の部分の制作ができるようになる。 | 毛髪の流れについてどのような表現があるか、図書館で美術作品集などをもとに考えてくる |
| 第9回 | 作品の制作3) 頭部全体 | ヘアデザインで欠かせないヘアアクセサリを考えることができるようになる。 | アクセサリ表現にひつような素材を集める |
| 第10回 | 作品の制作4) 背景 | 背景の制作：着色やコラージュ、エアブラシなど必要な技法の選択を行うことができるようになる。 | 制作に必要な材料の準備 |
| 第11回 | 作品の制作5) 全体の構成 | 全体を見ながら制作することができるようになる。 | さらに制作に必要な材料の準備 |
| 第12回 | 作品の制作6) 完成に向け制作 | 完成を目前に不足部分を確認し、制作することができるようになる。 | 作品タイトルなどを決定し、タイトルボードの準備を行う |
| 第13回 | 作品の制作7) 最終確認と制作 | 作品の完成が次回確実にできるよう制作を進めることができるようになる。 | プレゼン時に提示するコンセプトシートを作成してくる |
| 第14回 | 作品の制作8) 完成させる | 作品の完成と確認をすることができるようになる。 | 発表用資料を作成してくる |
| 第15回 | 作品の制作9) 展示とプレゼン | 作品について言葉で説明することができるようになる。 | 後期の美容研究につながるよう、再度デザインについて考察する。 |